

国際交流部会が市民カレッジで SDGs 学習ゲーム『Get The Point』を行いました

清水雅弘(日本語教室部会)

8月3日、サンロード津田沼6階大会議室で習志野市市民カレッジのステップアップ編(2年目)の講義が行われました。第1部が損保会社による「SDGsについて」の座学、第2部に「SDGs 学習ゲーム『Get The Point』を体験しよう」でした。受講生は小学生などの孫を持つ世代の方12名でした。私は元市民カレッジの受講生で、今回オブザーバーとして参加しました。

座学の後、4名1組になってゲームが始まりました。NIAの関根洋幸さんによるゲームの説明の後、各テーブルにNIA事務局や国際交流部会のメンバーがアシストにつきました。

1回目は各人の欲しいものを、与えられた資源(消耗資源と再生可能資源)を使ってできるだけ多く獲得(ポイント)し、資源がなくなるまで進めていきます。大体、7周ないし8周で資源が無くなり終了、最高点の方が決まりました。2回目は10周進めて、かつ11周目に進めるように資源を残す(SDGs)という条件で進めていきます。

1回目と2回目との目標は大きく違います。すると、各チームのメンバーは、再生可能資源を如何に再生しながら欲しいものを獲得するか、各人が相談しながら自分の欲しいものを獲得するようになりました。

10周が終わった時点で、再生可能資源は各チームともにほとんど残っていました。そして、点数を見てみると、1回目のチーム点数よりも2回目の方がどのチームも高かったです。受講生たちは、資源を再生することでゲームが続き、欲しいものを多く獲得できる



NIA 関根さんの説明を聞きました

ことに納得していました。

『Get The Point』は小学生から学べるように作られたゲームですが、成人及び年配の方々にも体験してもらって、楽しみながらSDGsを学ぶ機会がもっとあればと思います。地球温暖化や海洋汚染などに対して考えさせられることが多い現在ですが、ゲームを通じてどのように行動すれば持続できるのかを実感できるのでしょうか。(『Get The Point』のゲームの詳細はスクウェア第141号参照)



チームでゲームに取り組みます